

日本原子力学会 核燃料部会
令和 6 年度第四回運営小委員会議事録

日時 : 令和 7 年 2 月 21 日 (金) 9:30～11:40 於 WEB 会議(Webex)

出席者: 尾形部会長, 逢坂副部会長, 渡部副部会長, 阿部委員, 有馬委員, 宇田川委員 (代理: 山下氏), 宇埜委員, 片山委員, 樽松委員, 黒崎委員, 佐藤委員, 澤委員, 園田委員, 田伏委員, 鶴田委員, 中西委員, 西岡委員, 樋口委員, 松永委員, 森本委員, 浦野 (記)

議事:

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり, 尾形部会長からご挨拶をいただいた。また, 来年度第 1 回の運営小委において, 運営小委の開催頻度について議題として設定して議論する旨提案があり, その方針で進めることとした。

1. 前回議事録等の確認 (資料 1)

前回 (令和 6 年度第三回) 議事録は, 確認済みであり, 配布のみ。

2-1. 令和 6 年度核燃料部会業務分担について (資料 2-1)

2-2. 令和 7 年度核燃料部会 部会長及び副部会長の推薦について (資料 (資料 2-2))

浦野から, 令和 6 年度核燃料部会業務分担及び令和 7 年度の部会長及び副部会長の推薦について説明した。部会長に尾形委員 (再任), 副部会長に黒崎委員 (新任), 渡部委員 (再任) を推薦, 逢坂副部会長は来年度も委員を継続いただくことで本年 3 月 21 日の核燃料部会全体会議で審議いただくことを確認した。

3. 令和 6 年度収支実績と令和 7 年度予算について (資料 3)

浦野から, 令和 6 年度の収支実績及び令和 7 年度予算案について紹介した。

4. 企画小委員会の概要について (資料 4)

逢坂副部会長から, 本年 2 月 6 日に開催された企画小委員会の内容について説明があり, 各種議論や意見交換の活性化について, 若手の参画等に関する意見が交わされた。また, 副部会長の任期満了に伴い逢坂副部会長からご挨拶いただいた。

企画小委で議論されたとおり, 企画セッションのテーマ選定について, 来年度の国内企画担当と協力いただきながら佐藤委員にも引き続き検討に参加いただく旨, 了承された。

5. 令和 7 年度核燃料部会企画小委委員について (資料 5)

逢坂副部会長から, 次年度の核燃料部会企画小委員について説明があり, 提

示案に対し、以下修正を加えることで審議了承された。

- ・運営小委国内企画幹事変更に伴い、阿部委員を追加、園田委員⇒樋口委員に交代

6. 2024 年度部会賞（奨励賞および学会講演賞）および 2025 年度学会講演賞について（資料 6）

園田委員から、2024 年度部会賞（奨励賞および学会講演賞）および 2025 年度学会講演賞の状況について報告があり、2024 年度部会賞のメダル等の送付状況や予算対応について確認した。

また奨励賞について 3/5 までを期限として追加募集する旨、了承された。応募の締切までの期間が短いことから、募集にあたっては応募準備に時間を要する場合は柔軟に対応する旨、付記することとした。

2025 年度講演賞について、審査の透明性の観点から審査の方法や目安についてあらためて検討することとした。

7. 2025 年度夏期セミナーについて（資料 7）

松永委員から、2025 年度夏期セミナーの準備状況について説明があった。渡部副部長より基礎講座に確保する時間やタイトルについてコメントがあり、引き続き夏期セミナー幹事にて検討することとした。また、夏期セミナー内での運営小委の開催についても、状況を見ながら今後検討していくこととした。

開催方式、開催日程、開催場所について、提案どおり審議了承された。

8. 核燃料部会報について

鶴田委員から、核燃料部会報 No. 60-1 について、2 月中にホームページアップ予定である旨、報告があった。また、核燃料部会報 No. 60-2 については 2025 年 5～6 月頃に発行予定であり、国際会議紹介については逢坂副部長と相談して検討していくこととし、巻頭言については尾形部長に、ATF ワークショップの報告については JAEA 山下氏に執筆いただくこととした。

9. 部会等運営委員会の状況について（資料 9）

渡部副部長から、2025 年 1 月 21 日に開催された部会等運営委員会の内容について紹介があった。安全保障輸出管理のための対応について、セミナー等の対応について質問があり、学会の対応に倣って対応すれば良い旨確認した。

10. TopFuel2026 の準備状況について（資料 10）

渡部副部長から、TopFuel2026 の準備状況について紹介があった。進捗状況については今後も運営小委にてご報告いただくことを確認した。

11. 核燃料部会全体会議の準備について（資料 11）

浦野から、第 51 回全体会議資料案について紹介した。資料のうち「今後の活動予定」として記載する 2026 年の全体会議については、2026 年春の大会が現地開催となるが、現地開催とオンライン開催の双方にメリットがあることから、会期末定とし開催方法（現地開催かオンライン開催か）については今後検討することとし、全体会議の資料上は明記しないこととした。また、全体会議の開催についてはすでに核燃料部会のメールにて周知済みであることを確認した。

1 2. その他

浦野から、以下について報告した。

- (1)核燃料部会として JAEA 天谷氏を 2025 年度原子力学会フェローとして推薦したこと（学会本部から認定の連絡をいただいたことを後刻確認済み）。
- (2)核燃料部会情報メールのプロバイダーについて、学会事務局が契約している「さくらメール」を次年度も継続すること。

渡部副部長より、冒頭尾形部長よりお話のあった運営小委の回数を増やすことについて賛同する旨と、あらかじめ年間の日程を定めてはどうかとの提案があり、今後各委員の意見も踏まえて検討することとした。

次回、令和 7 年度第一回運営小委員会は、令和 7 年 5 月 14 日（水）13 時 30 分から WEB 開催することとした。

以 上